



校長あいさつ

満開の桜が咲き誇る入学式、新たに新入生を迎え、高倉中学校の令和8年度が始まりました。昨年度教頭として本校に着任し、今年度より校長を拝命いたしました 荒船友樹 と申します。本校が創立されてから校長としては第14代目となり、40年以上の歴史を紡いできた重みを感じながら、高倉の地域にひらかれた学校づくりに邁進してまいりたいと思います。高倉中学校に関わるすべての皆様、どうぞよろしくお願いいたします。



教頭あいさつ

はじめまして。長後中学校より参りました 安西 深雪 です。長後駅の「あっち」から「こっち」へ異動してきました。同じ地区なのでとても親近感を覚えています。高倉中学校の第一印象は「こぢんまりとしていてアットホームな雰囲気の学校」です。朝、昇降口に立っていると、生徒の皆さんの元気な挨拶が返ってきて、朝からさわやかなパワーをもらっています。とてもうれしいです。これからよろしくお願いいたします。



<4月 これまでの取り組み>

始業式・入学式 4/6(月)
離任式・対面式 4/7(火)
避難訓練 4/8(水)
任命式・部活動紹介 4/10(金)
学びの作法・給食開始 4/13(月)
部活動仮入部開始(1年) 4/13(月)~



<4月 これからの取り組み>

体育祭ブロック抽選会 4/14(火)・朝読書開始 4/16(木)
授業参観・懇談会 4/17(金)
家庭訪問(1年)・二者面談(2・3年) 4/20(月)~
全国学習状況調査(3年) 4/20(月)・23(木)・5/8(金)
情報モラル講座・ 4/28(火)

※学校便り・学年便りに写真等掲載不可の場合は、お知らせください。

上善如水とは？

「じょうぜんみずのごとし」と読みます。「最も理想的な生き方は、水のようなものである」という意味で、老子の「論語」にある言葉です。

「水のようなもの」とは、

- ① 抗わない(自然に流れる)
- ② 謙虚さ(低い所に留まる)
- ③ 利他の心(万物を潤す)
- ④ 柔軟性(環境に応じて状態を変える)

などを表しています。

他にも、「水滴は年月をかけて岩をも砕く」や「自然の中で潤いを与えてくれる」などがあります。

【学校教育目標】 自らを律し、共に生きる人になる

○目指す生徒像

1. 自ら考え、判断し、失敗を恐れずに行動できる生徒（自主・自律・挑戦）
2. 感謝と思いやりの心を持ち、自他を大切にできる生徒（感謝・共存・自己肯定感）
3. クラス・学年・学校を更に良くしていこうと努力できる生徒（自治・向上心）

◇目指す教師像

1. 誠実で信頼される教師
2. わかりやすく楽しい授業、次の学びにつながり信頼される評価を追求する教師
3. 生徒に寄り添い、一人ひとりに応じた指導・支援ができる教師

△目指す学校像

「笑顔」「挨拶」あふれる学校

1. 生徒が安心して通える学校
2. 教職員全体で生徒を支える学校
3. 保護者が「通わせたい」と思う学校
4. 地域から「愛される」学校

（重点目標） 心を育む

- A. 自主・自律・創造の「心」を育む
- B. 誰もが安心して生活できるクラス・学年・学校づくりのために「心」を育む
- C. 学ぶ「心」を育む

